

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003056	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹内 清治 / Takeuchi Seiji		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[水産] 第2講義室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	stakeuchi@		
担当教員研究室 / Office	本館2階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2818		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜5校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプ レゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと , また, 本学部での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが, 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加, プレゼンテーション, レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 課題学習のための調査や資料収集を行い, レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h) 事後学習: 授業時に配布された資料等を用いて復習を行い, 情報リテラシーや情報セキュリティ , 図書館資料収集方法についての理解を深め, 主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003057	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	濱田 友貴 / Hamada Yuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	濱田 友貴 / Hamada Yuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	濱田 友貴 / Hamada Yuki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め,科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力,レポートや口頭でのプ レゼンテーション,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと ,また,本学部での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが,初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加,プレゼンテーション,レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い,レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h)事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い,情報リテラシーや情報セキュリティ ,図書館資料収集方法についての理解を深め,主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003058	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	山田 明德 / Akinori YAMADA		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	山田 明德 / Akinori YAMADA		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	山田 明德 / Akinori YAMADA		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[水産] 第1講義室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ayamada@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	水産学部本館A3 1		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め,科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力,レポートや口頭でのプ レゼンテーション,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと ,また,本学部での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが,初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加,プレゼンテーション,レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い,レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h)事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い,情報リテラシーや情報セキュリティ ,図書館資料収集方法についての理解を深め,主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ,必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003059	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橘 勝康 / Katuyasu Tatibana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	橘 勝康 / Katuyasu Tatibana		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	橘 勝康 / Katuyasu Tatibana		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め,科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力,レポートや口頭でのプ レゼンテーション,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと ,また,本学部での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが,初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加,プレゼンテーション,レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い,レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h)事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い,情報リテラシーや情報セキュリティ ,図書館資料収集方法についての理解を深め,主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ,必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003060	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高谷 智裕 / Takatani Tomohiro		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taka@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	水産学部新館1階 高谷研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2846		
担当教員オフィスアワー/Office hours	17時以降が望ましい(月~金)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め,科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力,レポートや口頭でのプ レゼンテーション,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと ,また,本学部での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが,初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加,プレゼンテーション,レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い,レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h)事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い,情報リテラシーや情報セキュリティ ,図書館資料収集方法についての理解を深め,主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003061	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹垣 毅 / Takegaki Takeshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹垣 毅 / Takegaki Takeshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹垣 毅 / Takegaki Takeshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address			
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動の動機付けを高め,科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力,レポートや口頭でのプ レゼンテーション,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標/Course goals	高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと ,また,本学部での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが,初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加,プレゼンテーション,レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い,レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h)事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い,情報リテラシーや情報セキュリティ ,図書館資料収集方法についての理解を深め,主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード/Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書/Materials	授業の進行に合わせ,必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)		
備考(URL) /Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003062	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	荒川 修 / Osamu Arakawa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	荒川 修 / Osamu Arakawa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	荒川 修 / Osamu Arakawa		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	arakawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	水産学部D棟1階(D4)		
担当教員TEL / Tel	2844		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め,科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力,レポートや口頭でのプ レゼンテーション,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと ,また,本学部での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが,初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加,プレゼンテーション,レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い,レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h)事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い,情報リテラシーや情報セキュリティ ,図書館資料収集方法についての理解を深め,主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ,必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003063	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	柳下 直己 / Yagishita Naoki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	柳下 直己 / Yagishita Naoki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	柳下 直己 / Yagishita Naoki		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[水産] 第4実験室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	n-yagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	海洋動物学(柳下)研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	講義終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプレゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと, また, 本学部での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが, 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加, プレゼンテーション, レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 課題学習のための調査や資料収集を行い, レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。 (2h) 事後学習: 授業時に配布された資料等を用いて復習を行い, 情報リテラシーや情報セキュリティ, 図書館資料収集方法についての理解を深め, 主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003064	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	武田 重信 / Takeda Shigenobu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	武田 重信 / Takeda Shigenobu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	武田 重信 / Takeda Shigenobu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[水産]ゼミ室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	水産学部1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	s-takeda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Office	水産学部本館3階A89室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2804		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜12-13時, 火曜12-13時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプレゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと, また, 本学部での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが, 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的参加, プレゼンテーション, レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 課題学習のための調査や資料収集を行い, レポートの作成やプレゼンテーションの準備・練習を行うこと。 (2h) 事後学習: 授業時に配布された資料等を用いて復習を行い, 情報リテラシーや情報セキュリティ, 図書館資料収集方法についての理解を深め, 主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその都度指示する。 参考書: 磯魚の生態学(奥野 良之助・創元社)など		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	第9班の学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	長崎の海の面白さ魅力を主体的に見出してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第6回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第7回	各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	図書館資料収集ガイダンス
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (プレゼンテーション発表会)
第14回	クラス別課題学習 (プレゼンテーション発表会の反省と総括, 必要に応じて追加の資料収集及び調査, 課題の取りまとめ)
第15回	課題の完成、提出

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003065	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	近藤 能子 / Yoshiko Kondo		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yoshikondo nagasaki-u.ac.jp (を@に変えてください)		
担当教員研究室 / Office	水産学部本館3F, A-86		
担当教員TEL / Tel	095-819-2840		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め, 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力, レポートや口頭でのプ レゼンテーション, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から, 大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと , また, 本学部での学習の入り口として, 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが, 初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加, プレゼンテーション, レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 課題学習のための調査や資料収集を行い, レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h) 事後学習: 授業時に配布された資料等を用いて復習を行い, 情報リテラシーや情報セキュリティ , 図書館資料収集方法についての理解を深め, 主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位: 追記がある場合は上記を残し, この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5, 火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2020/04/13 ~ 2020/06/09		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20200581003066	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(水産) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	和田 実 / Wada Minoru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	和田 実 / Wada Minoru		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動の動機付けを高め,科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力,レポートや口頭でのプ レゼンテーション,ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	高校までの教師主導型学習から,大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすこと ,また,本学部での学習の入り口として,学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりの効果 も期待する。(目標A,F,G,I,J)		
知識・技能以外に,この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	授業開始時に詳細は説明するが,初年次セミナーに対する取り組み方やディスカッションへの積極的 参加,プレゼンテーション,レポート等により評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習:課題学習のための調査や資料収集を行い,レポートの作成やプレゼンテーションの準備・ 練習を行うこと。 (2h)事後学習:授業時に配布された資料等を用いて復習を行い,情報リテラシーや情報セキュリティ ,図書館資料収集方法についての理解を深め,主体的な学習のスキルを身に着けること。(2h)		
キーワード / Keywords	プレゼンテーション, 自己表現力, コミュニケーション, 情報・資料収集		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ,必要があればその都度指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい 。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp (担当教員各位:追記がある場合は上記を残し,この下にご記入下さい)		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ガイダンス：モジュール科目による教養教育, アクティブラーニング, 教員紹介
第2回	担当教員との懇談・方針説明・レポート作成の基礎
第3回	レポート作成および提出, ポートフォリオの入力
第4回	アクティブラーニングで学ぶコツ (若菜啓孝教授：大学教育イノベーションセンター)
第5回	情報セキュリティに関する特別授業 (ICT基盤センター教員)
第6回	情報リテラシー：情報を冷静に扱う, 客観的な分析, 引用, 盗作・盗用
第7回	1～5班図書館資料収集ガイダンス (6～11班は第8回目に実施する) 6～11班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第8回	6～11班, 図書館資料収集ガイダンス (1～5班は第7回目に実施する) 1～5班は各自課題を設定し, 調べ及び発表準備
第9回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第10回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第11回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第12回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第13回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第14回	クラス別課題学習 (資料収集及び調査, 中間発表, 追加調査, 調査を纏めるための検討, プレゼンテーションの方法についての検討, 発表の準備)
第15回	クラス別課題学習 (最終発表会 反省と総括等を含む)